

協会報

Seasonal Association Bulletin

2026
—新年号—
NO.471

▶ 新春を迎えて

令和8年新年あいさつ

(一社)石川県建設業協会会长 鶴山庄市

▶ 新春ご挨拶

▶ 午年は語る



©PIXTA

雪化粧の兼六園



“未来”を創り“ふる里”を守る建設産業
一般社団法人 石川県建設業協会

INDEX

新春を迎えて

令和8年新年あいさつ (一社)石川県建設業協会会長 鶴山庄市 1

新春ご挨拶

創造的復興と成長戦略で築く石川 石川県知事 駒 浩 2

令和8年年頭所感 一般社団法人全国建設業協会会長 今井雅則 3

年頭のご挨拶 石川労働局長 八木健一 4

新年挨拶 国土交通省北陸地方整備局金沢河川国道事務所長 五十川泰史 5

午年は語る

小柳 誠、宮下英己、細川顯司、西山俊也、河上公輝

TOPICS

令和7年度北陸地区建設業協会地域懇談会の開催 9

知事懇談会の開催 11

県選出国會議員並びに佐々木 紀国土交通副大臣等国土交通省幹部に対する要望活動 13

令和7年度市町要望活動の実施 14

令和8年 (一社)石川県建設業協会 石川県総合建設業協同組合 合同新年会の開催 16

褒章・叙勲、表彰

令和7年秋の叙勲受章者の紹介 17

知事感謝状の受賞 17

令和7年度「優良建設功労者」・「優良建設工事」知事表彰等の紹介 18

災害復興の足音

石川県ニュース

のと里山海道4車線化(羽咋市柳田町~寺家町間)の完成 22

石川県土木部道路建設課

人材育成・確保

女性部会「百万石小町『結』」～現場見学会・研修会の開催～ 24

福井県建設業協会女性部会との意見交換会の開催 26

工業系高校を対象とした現場見学会の開催 27

国土交通省、建設産業人材確保・育成推進協議会主催 28

令和7年度「高校生の作文コンクール」入選作品の紹介 28

輝さん

鈴木建設株式会社 宗廣 美昂香さん 31

島屋建設株式会社 沖野 凪沙さん 32

株式会社竹松組 中村 理夢さん 33

協会ニュース

(一社)石川県建設業協会・石川県総合建設業協同組合理事会の開催 34

「いしかわインフラ・フォトクリップ」～建設フォトコンテスト～ 入賞作品の紹介 35

徳島県建設業協会青年部との意見交換会の開催 38

沖縄県建設業協会青年部会との意見交換会の開催 38

全国建設青年会議第30回全国大会への参加 39

「3級建設業経理事務士特別研修」の開催 39

東日本建設業保証株式会社ニュース

東日本建設業保証(株)グループ会社 (株)建設経営サービス出来高融資のご案内 40

関係機関からのお知らせ

特殊詐欺 SNS型投資・ロマンス詐欺急増 41

令和8年新年あいさつ

(一社)石川県建設業協会会長
鶴山 庄市



令和8年の新しい年を迎え、謹んで新春のお慶びを申し上げます。平素、石川県建設業協会の諸事業に対して、ご理解・ご協力を賜わり御礼申し上げます。

地震発災から2年、豪雨災害から1年半の月日が経ちました。復旧工事も本格的に始まり、協会会員の皆様を始め、大手企業や地域外企業の方々の大変な協力の下、復興に向け懸命に工事が進められています。只、余りにも膨大な工事量であり、復旧工事を発注する行政機関の事務対応、受注する業界の対処能力、それぞれに課題がある事も事実です。今後も、発注機関と業界が密接に連携し、課題を共有しながら少しでも復旧がスムーズに行なわれていくよう努めねばなりません。

昨年、国土強靭化実施中期計画が決定され、防災・減災対策を始め、八潮市で起きた下水陥没事故に見られるインフラの維持管理がより一層強力に行われていく事になりました。併せて、しっかりととした公共事業予算の確保がなされていく事により、先の見える希望が持てる建設業界になっていく事が期待されます。激甚化する自然災害や除雪への対応など「地域の守り手」としての役割を果たしていく為にも安定した仕事量が確保されていく事が何よりも大切です。

一方、業界の課題も数多くあり、それら解決も会員の皆さんのご協力を得ながら取り組んでいかなければなりません。依然として続く物価高、資材高や就労者の高齢化、入職者をいかに増やすかといった働き手の確保、更には、働く人達の職場環境の改善や夏場・冬場を意識した作業時間の在り方、工期の設定などを発注者と協議していかなくてはなりません。ICT施工の積極的導入など業界のDX対応により、生産性の向上も大事な課題です。数多くの課題には、設計価格の適切な計上、施工上必要な各種補正係数の適用、各種前提条件を見据えた工期の設定など、官民間わずの協議・調整が必要と思われます。皆さんと課題をしっかりと認識し、解決へ取り組んでいく所存です。

建設総合センターの建て替え事業も継続していきます。移転適地について、様々な情報を得ながら検討してくれと共に、建て替えに伴う多額の資金需要に備え、少しずつでも積み立てをしていきたいと考えています。また、協会内の各委員会活動が活発に行なわれる事により、会員の皆さんにとって、有益な協会になっていく事を期待しています。今年一年、能登の創造的復興、業界の振興発展に向け、会員皆様のご支援を心よりお願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。



創造的復興と成長戦略で築く石川

石川県知事 馳 浩

令和8年の年頭にあたり、県民の皆様に謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

令和6年能登半島地震から2年、奥能登豪雨から1年3カ月余りが経過いたしました。県では昨年を「復興元年」と位置づけ、インフラの復旧、被災者の方々の生活と生業の再建、そして創造的復興に向けた取組に全力を尽くしてまいりました。

能登復興のシンボルとなるトキの放鳥については、昨年7月に放鳥場所を羽咋市南潟地区（邑知潟周辺）に決定し、10月には記念イベントを開催したところです。引き続き、放鳥ケージの設置や放鳥式の開催準備、観察マナーの普及啓発など、今年6月頃の放鳥に向け、万全を期してまいります。

また、関係人口の創出・拡大に向けて、いしかわサテライトキャンパス事業において、県内外から学生を募集し、フィールドワーク等を通して地域の方々との交流を促進するプログラムを提供しており、昨年11月末時点で、目標を上回る78大学等の約810人から参加が見込まれております。さらに、地域と関係人口をつなぐポータルサイト「いしかわのWa！」の運用を昨年11月より開始し、運用開始から約一ヶ月間で県内外から640名を超える方に登録いただきました。災害ボランティアや「祭りお助け隊」などの形で、これまでに能登に関わっていただいた方々に、「いしかわのWa！」の登録を呼びかけるほか、首都圏等でのPRを実施し、関係人口の掘り起こしに取り組んでまいります。

能登駅伝については、数年後の開催に向けて検討を進めており、今年度は基本計画案を策定することとしております。復興の象徴となる「記録より記憶に残る大会」を目指し、引き続き検討を進めてまいります。

能登ならではの生業である輪島塗の復興については、昨年8月の検討委員会において、輪島を「漆芸の聖地」とする基本構想を策定しました。構想の核となる「若手人材の養成施設」の整備に向けた準備を進めるとともに、県民向けの輪島塗の魅力発信や、海外展開も見据えた販路開拓の支援に、官・民・産地がしっかりとスクラムを組んで、引き続き取り組んでまいります。

さて、昨年は、県民にとって希望となるような出来事も多くございました。

愛子内親王殿下におかれましては、5月に初めてご来県され、七尾市と志賀町において、生業再建の現状やボランティアの活動状況などをご視察いただき、被災者の方々に慈愛に満ちた優しいお言葉をおかけいただきました。被災地に寄り添う殿下のお姿は、被災者の皆様方の心に深く刻まれたものと、心より感謝申し上げます。

また、本県津幡町出身の大の里関が大相撲5月場所において、2場所連続、4度目の幕内最高優勝を果たし、本県出身力士としては輪島関以来52年ぶりに横綱に昇進しました。初土俵からわずか13場所での横綱昇進は、史上最速となる快挙であり、この栄誉を心からたたえるため、石川県県民栄誉賞を贈呈しました。「唯一無二」の横綱として今後一層のご活躍を期待しております。

大阪・関西万博では、8月27日から5日間、本県の魅力である「祭り」や「食文化」をテーマにしたイベント「石川の日」を開催したほか、「夜の地球 Earth at Night」パビリオンには、能登半島地震でも奇跡的に無事であった輪島塗大型地球儀が常設展示され、本県の魅力を国内外に存分に発信することができたものと考えております。

今年も引き続き、国や被災市町、民間の方々と緊密に連携し、地震・豪雨からの能登の復旧と創造的復興に全力を傾注するとともに、石川県全体のさらなる成長に向け、県政の羅針盤である「石川県成長戦略」を具現化する取組にも全力を挙げて取り組みことをお誓い申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



令和8年年頭所感

一般社団法人全国建設業協会会長 今井 雅則

令和8年の新春を迎え、謹んで年頭の挨拶を申し上げます。

平素より、全建の事業活動に対し格別のご支援・ご協力を賜り、深く感謝いたします。

近年の地域建設業を取り巻く状況は、公共建設投資が横ばいで推移し、実質投資額が減少する中で、資機材価格の高騰や人件費の上昇等の影響により企業倒産が増加するなど、経営環境は厳しさを増しています。

また、昨年も気候変動の影響により、地震、台風、豪雨、豪雪などによる大規模な災害が全国各地で発生しました。自然災害の激甚化・頻発化の傾向は顕著となっており、老朽化が進んでいるインフラの維持管理や更新の対策とあわせて、防災・減災のための国土強靭化は喫緊の課題となっています。

地域建設業は、社会資本整備や維持管理のみならず、災害発生時には最前線で災害対応を担う「地域の守り手」であるとともに、国民生活や地域経済、雇用の下支えをする地域の基幹産業として、地方創生のための重要な役割も担っています。

地域の安全・安心を担う地域建設業が、魅力ある憧れの産業として、その社会的使命を持続的に果たしていくためには、健全で安定したサステナブルな経営、処遇改善による担い手の確保が必要であり、そのためには、公共事業の実質事業量の増額確保と、将来に向けた経営の見通しが立つ長期的な事業計画の策定、求められる技能や役割に相応しい処遇の実現が不可欠です。

全建といたしましては、「危機管理投資・成長投資による強い経済の実現」に向け、国土強靭化を含む必要な公共事業予算の確保を強く求めるとともに、新3K（給与、休暇、希望）+K（かっこいい）の実現に向け、時間外労働の上限規制の適用を踏まえた「2+360（ツープラスサンロクマル）運動」、「適正工期見積り運動」、「目指せ！建設現場土日一斉閉所運動」を進めるほか、賃金の引上げ、ICTの活用・DXの推進、広報活動などにも引き続き積極的に取り組んで参ります。

本年も、全建は47都道府県建設業協会ならびに会員企業の皆様と一緒に、地域建設業の発展に向けて全力で取り組む所存でございますので、引き続きご支援のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

結びに、皆様のますますのご多幸とご健勝を祈念するとともに、建設業のさらなる飛躍を願いまして、私の年頭の挨拶とさせていただきます。



年頭のご挨拶

石川労働局長 八木 健一

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

石川県建設業協会の皆様には、日ごろから、石川労働局の行政運営に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和6年能登半島地震、奥能登豪雨では、これまでの間、被災された事業所や労働者に寄り添い、ハローワーク、労働基準監督署、石川労働局一丸となって取り組んでおります。特に、豪雨の被害が重なった能登地域においては、産業雇用安定助成金により在籍型出向を通じた雇用の維持・継続などを支援するとともに、雇用保険の支給や県内10か所のハローワークに設けた「特別職業相談窓口」において就職支援を行ってまいります。

また、復旧・復興工事などにおける作業の安全・衛生の確保など進捗状況に応じた課題に取り組むことにより、能登創造的復興に向けた着実な進展を期待しております。

一方、最近の県内の雇用情勢を見ますと、有効求人倍率は1.50倍を上回っており、あらゆる産業において人手不足の状況が続く中、「人材確保支援」を重点取組と位置付け、特に建設など人材不足が顕著な6分野についてハローワーク金沢に「人材確保支援専門窓口」を設置するとともに、各地方公共団体や業界団体と連携した支援を行っているところです。

加えて、過去最高の引上げとなった石川県最低賃金1,054円の周知及び履行確保、賃金引上げに向けて取り組む事業場を支援してまいります。また、安全で健康に働くことができる環境づくりを図るため、長時間労働の抑制、過重労働による健康障害防止を徹底するとともに、建設業などの時間外労働の上限規制について、発注者、荷主といった取引関係者等による取引慣行の見直しを促すなど、関係機関と連携し周知、支援に努めます。さらに、第14次労働災害防止計画の4年度目を迎える中、事業者が自発的な安全衛生対策に取り組むための意識啓発など重点8項目の目標達成に向けた取組の推進及び「労働安全衛生法等の一部改正法」等の内容の周知に努めます。

働きやすい環境づくりや不合理な待遇差の解消を目指すため、職場のハラスメント防止対策、男女の育児休業取得促進や仕事と育児・介護を両立できる職場環境の整備、同一労働同一賃金の実現などについて法の周知を図るとともに適正な履行を図ってまいります。特に、労働施策総合推進法が改正され、カスタマーハラスメント対策が義務化されることとなっており、関係機関等と連携して周知を行ってまいります。

石川労働局では、今後も、関係機関・団体とも連携を密にし、労使・県民の皆様の期待に応えてまいりますので、各種施策の周知・広報などに引き続きのご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、貴会の益々のご発展と、会員の皆様のご活躍・ご健勝をご祈念申し上げて、年頭のご挨拶といたします。



新年挨拶

国土交通省北陸地方整備局金沢河川国道事務所長
五十川 泰史

新年あけましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

石川県建設業協会の皆様には、日頃より、国土交通行政、とりわけ石川県内の社会資本の整備や維持管理、防災対策等の推進にご理解・ご協力・ご尽力を賜り、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

令和6年能登半島地震から2年が経過いたしました。発災後の道路啓開・応急復旧、その後の復旧事業の推進にあたっては、貴協会の皆様に大変なご尽力を賜り、誠にありがとうございます。あらためまして、心より敬意と感謝を申し上げます。直轄権限代行により当事務所で担当しておりますのと里山海道などの復旧事業に、引き続き全力で取り組んでまいります。

治水事業では、令和4年8月の大規模な浸水被害を踏まえた梯川の緊急治水対策や手取川の西川・熊田川合流点処理事業をはじめ、手取川、梯川、手取川上流（白山）、石川海岸で進める治水対策を推進してまいります。

道路事業では、昨年、国道159号羽咋道路では初めてとなる一部区間の開通と国道8号加賀拡幅の全線4車線化を行いました。引き続き、ミッシングリンクである能越自動車道田鶴浜七尾道路や金沢都市圏の交通円滑化に向けた金沢東部環状道路・海側幹線などの改築事業や防災対策、交通安全対策、無電柱化、長寿命化対策等、直轄国道の整備、維持管理等を引き続き推進します。

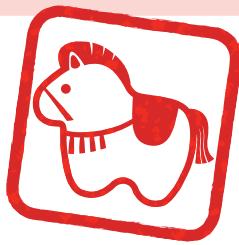
また、冬期の道路交通確保について、関係機関と情報共有・連携を図り、除雪作業受注者のご尽力を頂きながら、適時的確な対応に努めてまいります。

昨年も、8月に加賀地方で線状降水帯が発生し、金沢市、野々市市、白山市等で浸水被害に見舞われました。防災・減災、国土強靭化や生産性向上等に資する社会資本の整備や維持管理、環境づくり等、私どもの使命は多岐にわたります。貴協会の皆様とともに、誠心誠意、全力で取り組んでまいる所存です。引き続きご協力をお願い致します。

そして、担い手確保も大きな課題です。「北陸けんせつミライ2025」の3本柱（適正利潤の確保、変わるべき待遇・働き方、未来につながる建設現場）への取組を、皆様からのご意見なども踏まえ、皆様とともに推進してまいります。

結びに、本年が「飛躍」の年となりますよう、貴協会と会員、並びに従業員・ご家族の皆様の益々のご発展、ご健勝を祈念いたしております。

本年もどうぞよろしくお願ひいたします。



小柳 誠（昭和29年4月13日生）

日本海建設株式会社 代表取締役社長

新年明けましておめでとうございます。

いよいよ創造的復興の2年目に入りましたが、石川県民にとってこれまでに経験したことのないほどの激震に遭い、大災害が予想され、建設業に身を置く者の一人として安全安心の担い手としての使命感に身の引き締まる思いを抱いたのもついこの間のように感じております。どうかこの1年は、復興が加速度的に進みますようにと心から祈っております。

私事で恐縮ですが、年男も6回目となり日々老いをつくづくと感じる今日この頃です。最近は運動と無縁の生活をしており、これでは老いが増すだけであり、何か適度な運動をしたいと思うのですが、思いはあっても実行が伴いません。今年こそ一念発起して、軽い運動から始めて持久力を回復したいと思っております。皆様も健康にだけはくれぐれも気を付けて日々お過ごしください。そして、本年が皆様にとって良い年になりますよう心からご祈念申し上げます。



<F-35 ライトニングIIと私>

宮下英己（昭和41年7月6日生）

株式会社北都組 代表取締役社長

新年あけましておめでとうございます。

「午年は語る」という事で、還暦を迎える私の干支は「丙午(ひのえうま)」であり、迷信から出生率が前年比25%減と著しく同級生が少ないので、業界では、丙午の方々が早くから多方面で活躍しており、協会活動歴が浅い私には大先輩のような大変心強い存在であり、励みになっております。

改めて「丙午」の話ですが、その特徴は迷信に反して、四柱推命では、逆境に強く、行動力があり強運の持ち主だとされ、確かに自身の半生は運に左右された自覚はあります。還暦の年、もう強運は使い切ったかもしれません、創業100年が目前であり、それまでは社業の隆盛に貢献できるよう、日々精進をと決意だけは強く誓う今日この頃です。

精進といえば、震災関連で社員が疲弊する中、社長がどんどん肥大化する事態を深刻にとらえています。まずは、本案件の改善に努め、周囲からの指摘件数減少に努めます！



<熊本城にて（土木委員会現場研修・研修会）>

細川顕司（昭和53年7月18日生）

ほそ川建設株式会社 代表取締役

新年あけましておめでとうございます。

本年、私は48歳の年男を迎えます。人生の折り返し地点において、改めて「心身の健康」を大切にしたいと考えております。

昨年、娘の「奈良の大仏を見たい」という一言から、家族で奈良を訪れました。東大寺大仏の参拝はもちろん、正倉院展では13年ぶりとなる「瑠璃壺」の美しさに息を呑み、さらにはたまたま今年限定で特別公開されていた正倉院正倉の「校倉造」を間近に見る幸運にも恵まれました。悠久の歴史と家族との時間は、心の保養となりました。

また、趣味のゴルフは奥深く上達には未だ道のりは遠いと感じておりますが、パーソナルジムで基礎体力を鍛え直し、心技体のバランスを整えられたらと思っております。

皆様にとっても、幸多き1年となりますよう心よりお祈り申し上げます。



<正倉院正倉の特別公開にて>

西山俊也（昭和53年8月15日生）

株式会社西山産業 取締役常務・土木部長

新年あけましておめでとうございます。

令和5年に、会社で役職が上がり、また趣味で続けているシニアサッカーではキャプテンを任命され、責任感と使命感を胸に、約3年間走り続けてきました。

仕事では、先頭に立って走り皆を引っ張っているつもりでも、振り返ると周囲がついて来ていなかったこともあり、人の上に立つことや育成の難しさを実感しました。

一方、サッカーではキャプテン就任後の3シーズンで3部から1部へ昇格し、今季は1部残留、トーナメント戦では準優勝と県内2位の結果を残すことができました。仲間とのチームワークの大切さを改めて学ぶことができたと思います。

様々な場面で先頭に立つ中で、苦悩や喜びを味わいながらも、気持ちの面では迷走していました。

来年はペース配分を大切にしながら走り、何事もよりウマくいくように進めていきたいと思います。

皆様にとっても、何事もウマくいく1年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。



<ゴーゴーカレースタジアムにて（前列右から3人目が私です）>





河上公輝（昭和53年10月13日生）

株式会社大河組 代表取締役

新年あけましておめでとうございます。午年を迎える建設業を営む年男として、改めて責任と使命を胸に刻み、新たな挑戦に向けて歩みを進めてまいります。

本年の抱負は「信頼と革新の両立」。地域社会の基盤を支える建設業として、安全・品質・納期を守ることは当然の責務。その上で、時代の変化に対応した技術革新や働き方改革にも積極的に取り組み、持続可能な企業づくりを目指します。社員一人ひとりが誇りを持てる職場環境を整え、若手の育成にも力を注ぎます。午年の勢いに乗り、地域に根ざした信頼と未来志向の建設業を実現してまいります。



<今年もよろしくお願いします>

輝きさん のラジオ出演！

 FM エフエム石川



当協会のホームページや協会報で紹介する“輝き☆さん”（会員企業の若手社員）が、エフエムラジオの番組に毎月出演し、建設業の魅力や仕事への意気込み等を語ります。

是非お聞きください

けんせつ一番星☆
[Sunset Express-MOVE]

毎月第4火曜日 18:00～18:05

令和7年度北陸地区建設業協会地域懇談会の開催

開催日時 令和7年10月29日(水) 14:30~17:00

開催会場 ホテルグランテラス富山(富山県富山市)

県協会出席者 鶴山庄市会長、真柄卓司副会長、中市勝也副会長、
小中出佳津良副会長、鈴見裕司専務理事



概要

- 令和7年度北陸地区建設業協会地域懇談会に、国土交通省、(一社)全国建設業協会、富山・新潟・石川各県及び長野県(オブザーバー)の建設業協会役員約50名が出席しました。

会では、開催県の(一社)富山県建設業協会大橋聰司会長の挨拶に続き、

国土交通省大臣官房審議官(不動産・建設経済) 藤田昌邦氏

国土交通省大臣官房審議官(技術、水管理・国土保全局) 小島 優氏

国土交通省北陸地方整備局長 高松 諭氏(代読 大坂 剛 建政部長)

(一社)全国建設業協会会長 今井雅則氏

が挨拶されました。



<富山県建設業協会 大橋聰司 会長> <国土交通省 藤田昌邦 大臣官房審議官> <国土交通省 小島 優 大臣官房審議官>



<北陸地方整備局 大坂 剛 建政部長> <全国建設業協会 今井雅則 会長>

- 議事は、(一社)全国建設業協会山崎篤男専務理事の司会で、下記の地域懇談会テーマについて意見交換が行われました。

- 1 公共事業(国土強靭化を含む)の推進
- 2 過酷な気候に対応した柔軟な働き方と規制や積算のあり方、生産性の向上
- 3 賃上げと労務費の行き渡り、物価上昇と価格転嫁、これらに対応した入札制度のあり方
- 4 外国人労働者等、建退協制度・CCUS、災害対応、広報

当県出席者の発言

【テーマ1（鶴山会長）】

- ・地震、水害からの復旧と創造的復興の実現及び公共事業予算の持続的・安定的な確保
- ・公共事業予算への防衛予算の活用

【テーマ2（小中出副会長）】

- ・気象条件に伴う作業ロスを積算上評価できるよう「季節補正」や「地域係数」の拡充
- ・建設市場整備推進事業費補助金の継続

【テーマ3（真柄副会長）】

- ・復興係数、小規模工事の歩掛設定、スライド条項の手続き簡略化
- ・予定価格の上限拘束性

【テーマ4（中市副会長）】

- ・外国人労働者受け入れに向けた、コミュニケーションの確保や長期雇用できる法整備などの環境整備が必要
- ・災害対応時の従事者の補償について、公的補償水準となるよう要望



● 引き続き、下記提案議題について意見交換を行いました。

【石川県建設業協会】

- ①建設人材確保のための環境整備（週休2日、生産性向上）
- ②現場実態に即した、建設資材価格、係数、歩掛の採用

【富山県建設業協会】

- ①公共事業予算の安定的・持続的な確保と国土強靭化の推進について
- ②担い手確保に繋げるための環境づくりについて

【新潟県建設業協会】

- ①交通誘導員不足及び熱中症対策として「交通風洞システム」の活用推進について
- ②ICT施工の中小企業への普及・拡大について



知事懇談会の開催

開催日時 令和7年12月19日(金) 15:30~17:15

開催場所 金沢東急ホテル

出席者 石川県 駐 浩知事

本田 琢木部長、宮本義浩技監、木村康博復旧復興戦略監、

三谷浩二郎土木部次長、長 秀之土木部監理課長

協 会 正副会長、県・地区協会役員 計60名

概要

冒頭、鶴山市会長が「我々は、各分野・各地域において様々な工事に取り組んでおり、復旧・復興がそれなりに進んできたという感じを受けます。そのような中、入札不調を少しでも減少させ、あるいは各種工事をしっかりと適正に執行していくことを前提に、引き続き意見交換等させていただきながら準備を進めてまいりたい。これから冬場を迎える除雪の問題等もありますので、ご指導を賜りながら、出来るだけの力を発揮して課題解決に取り組んでまいります。」と挨拶。続いて駐 浩知事が「県建設業協会の皆様には、復旧・復興だけではなく、県内全域で様々な事業に力を発揮していただいておりますことに改めて御礼申し上げます。会議等を通じてどのように段取りを組んでやっていくのか“継続は力なり”と、この状況を踏まえながら10年先を見据えて石川県の県土を治していく。重要な事業が目白押しであり、色々な面で皆さんにご指導・ご協力をいただくとともに、我々行政もきちんと整備をして計画的にやっていくことで県民の期待に応えてまいりたい。」等と挨拶されました。

要望・懇談では、県建設業協会及び土木・建築・土地改良委員会、地区建設業協会から、能登地域の創造的復興や県発注工事の資格要件、道路・河川の整備促進等について要望を行い、知事及び土木部幹部と懇談しました。要望への詳細な回答は後日文書でいただくこととし、中市勝也副会長の挨拶で閉会しました。



<駐 浩知事>



<鶴山市会長>



<懇談会場>

〈石川県建設業協会の要望事項〉

1. 能登地域の創造的復興の実現
2. 公共事業予算の持続的・安定的な確保と防災・減災、国土強靭化対策の着実な推進
3. 地元建設企業の持続的発展
4. 第3次担い手3法に基づいた適正な入札・契約制度の実施
5. 働き方改革と生産性向上
6. 持続可能な除雪体制の確保

〈石川県建設業協会委員会の要望事項〉

【土木委員会】

震災復旧概略発注工事における、設計期間の工事中止による技術者の専任解除、中止期間中の費用の清算変更計上等、円滑な工事着手に向けた取組み

【建築委員会】

県発注工事（建築関係）における現場配置技術者の資格要件を、国同様に建設業法に準拠した資格要件に緩和

【土地改良委員会】

災害復旧工事は、原則3年で迅速に復旧を図ることが原則であるが、緊急性のある案件は別として、今後の農業施策を見据え大規模化を図るなどの検討を加え、復旧の優先順位付けを踏まえた、復旧期間の延長

〈地区建設業協会の要望事項〉

【金沢建設業協会】

- ・働き方改革と未来の担い手確保・育成
- ・被災地における技術者、作業者のための宿泊施設、食事提供施設等の環境整備の早期実施
- ・当協会が、資源の有効利用を図るため実施している改良土事業が安定して継続できるよう、県発注の道路・河川などの一般建設工事や解体の埋戻し、災害復旧工事への利用拡大

【加賀建設業協会】

- ・県境に位置する県の玄関口にふさわしい道路整備
- ・命と財産を守る防災・減災対策

【小松・能美建設業協会】

- ・地域振興と暮らしを支える道路の整備促進
- ・安全・安心の確保に向けた道路・河川の整備促進

【白山野々市建設業協会】

- ・地域振興と暮らしを支える社会資本整備
- ・安全・安心の確保に向けた防災基盤の充実

【河北都市土建協同組合】

- ・公共事業の継続的推進
- ・残土処理場の新規設置

【羽咋都市建設業協会】

- ・道路網の早期回復と機能強化及び隣県とのアクセス強化
- ・防災・減災対策を充実強化し安全・安心な暮らしを支える治水対策

【七尾鹿島建設業協会】

- ・地震災害からの復旧・復興
- ・地域建設業の持続的発展

【鳳輪建設業協会】

- ・広域交流幹線軸道路網の復旧・復興整備促進
- ・砂防、地すべり、急傾斜地対策の復旧・復興整備促進
- ・二級河川の復旧・復興整備と維持管理
- ・港湾・漁港の復旧・復興整備促進
- ・復旧工事の発注調整

【珠洲建設業協会】

- ・地域振興と安全・安心して暮らしを支える幹線道路復旧
- ・農林水産業施設の早期復興
- ・被災者の住宅確保
- ・地元建設業の受注機会の確保

県選出国会議員並びに佐々木 紀国土交通副大臣等 国土交通省幹部に対する要望活動

石川県建設業協会は、12月16日(火)、石川県選出の自民党国会議員に対し、能登地域の創造的復興、公共事業予算の持続的・安定的な確保と防災・減災、国土強靱化対策の着実な推進等4項目を要望しました。

鶴山庄市会長、真柄卓司副会長、中市勝也副会長、小中出佳津良副会長、鈴見裕司専務理事が、岡田直樹参議院議員、西田昭二衆議院議員、宮本周司参議院議員、小森卓郎衆議院議員と面会し、要望書を手渡しました。

岡田参議院議員はじめ国会議員の皆さんから「能登地域の創造的復興へ向け、防災・減災、国土強靱化対策の着実な推進等、しっかりと取り組んでいく。」との力強いお言葉を頂きました。

国会議員への要望に先立ち、正副会長、鈴見専務理事は国土交通省を訪れ、佐々木 紀国土交通副大臣をはじめ吉岡幹夫顧問、廣瀬昌由技監、沓掛敏夫道路局長など同省幹部に要望を行いました。



【要望事項】

- 1 能登地域の創造的復興
- 2 公共事業予算の持続的・安定的な確保と防災・減災、国土強靱化対策の着実な推進
- 3 地元建設企業の持続的発展
- 4 適正な入札・契約制度の実施と働き方改革の推進

“未来”を創り“ふる里”を守る建設産業



令和7年度市町要望活動の実施

県建設業協会は、地区協会と合同で県内の市長、町長へ要望活動を行いました。今年度は11月17日(月)・25日(火)・26日(水)・28日(金)、12月3日(水)・12日(金)の、延べ6日間にわたり県内の19市町を訪問し、業界の実情を訴えるとともに、直面する課題などについて意見交換を行いました。

県協会から鶴山庄市会長と鈴見裕司専務理事、各地区協会からは会長、副会長、理事の方々が参加し、市町の首長または副市長、副町長に要望書を手渡しました。

要望の主な内容は、

1. 能登地域の創造的復興の実現
2. 公共事業予算の持続的・安定的な確保と防災・減災、国土強靭化対策の着実な推進
3. 地元建設企業の受注機会の確保
4. 第3次担い手3法に基づいた適正な入札・契約制度の実施
5. 働き方改革と生産性向上
6. 持続可能な除雪体制の確保

の6項目。

各市町から災害対応に対する謝意をいただくとともに、

- 労務費や資材価格の急激な高騰の設計加算への反映
- 災害復旧工事の不調不落への対応
- 除雪待機料の必要性
- 残土処分場のひっ迫状況
- 生コン供給の必要性

等について意見を交換しました。

改めて「地域の守り手」としての使命・役割を再認識するとともに、災害の復旧・復興への取り組みはもとより、協会としてさらなる石川の発展に貢献すべく、インフラの整備・維持管理、担い手確保・育成等の取り組みを進めてまいりたいと思います。



<山田 加賀市長>



<井出 能美市長>



<田西 川北町副町長>



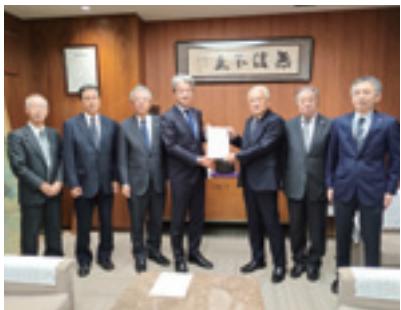
<宮橋 小松市長>



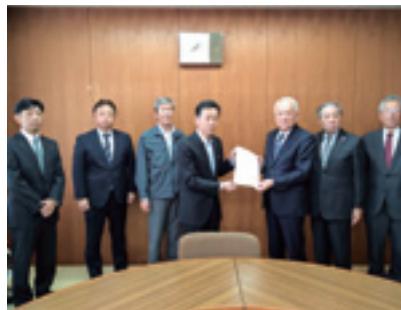
<栗 野々市市長>



<稻岡 志賀町長>



<吉村 穴水町長>



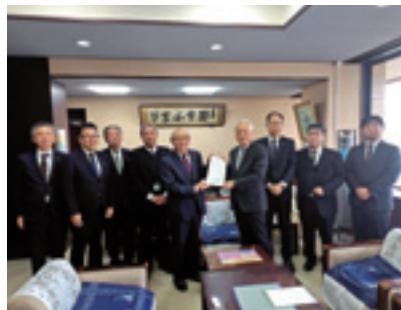
<中山 輪島市副市長>



<泉谷 珠洲市長>



<茶谷 七尾市長>



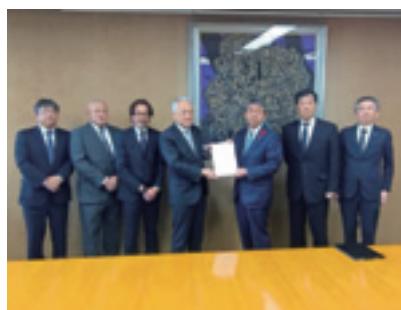
<宮下 中能登町長>



<吉田 能登町長>



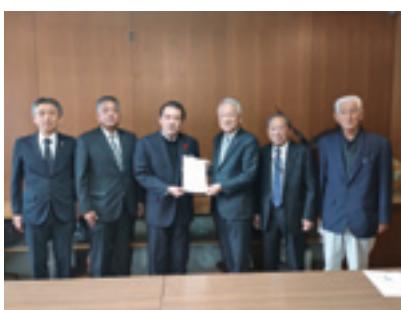
<村山 金沢市長>



<田村 白山市長>



<岸 羽咋市長>



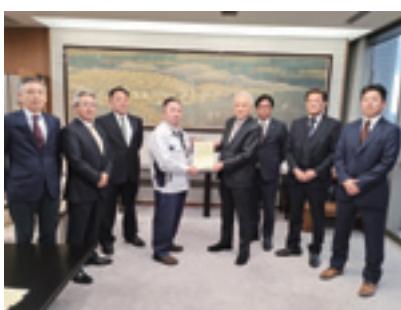
<高下 宝達志水町長>



<油野 かほく市長>



<矢田 津幡町長>



<生田 内灘町長>

(※写真は、来訪順に掲載)

令和8年 (一社)石川県建設業協会 石川県総合建設業協同組合 合同新年会の開催

石川県建設業協会及び石川県総合建設業協同組合は、1月20日(火)午後6時から、ホテル日航金沢において令和8年合同新年会を開催しました。

馳 浩石川県知事をはじめ、国会議員、県議会議員、国・県の関係行政機関の長及び協会関係団体代表者等の来賓の他、協会員、組合員を合わせた184名が参加しました。

東茶屋芸妓による舞「宝船」「さわぎ」で幕開け。冒頭、主催者を代表して、鶴山市会長（組合理事長）が、「会員の皆様には、震災や豪雨災害の復旧・復興工事を始め、県土強靭化や農林・水産業の振興発展のため、また、施設・建物の建築工事、除雪など大変精力的に取り組んでいただいておりますことに対し、改めて敬意を表しますと共に感謝・御礼を申し上げます。大きなボリュームの工事や金額の大きな工事をこなしていますが、この業界でのデジタル化・IT化の一層の進展や、個々の皆様の技術力や施工力、経営力等の向上に繋がるきっかけになるのではと思っています。これからも長い道のりですが、様々な課題や問題をしっかりと皆さんと共有させていただき、共に力を合わせて取り組んでまいります。」と挨拶。

来賓の馳 浩知事、佐々木 紀衆議院議員 国土交通副大臣、小森卓郎衆議院議員 経済産業・内閣府・復興大臣政務官、宮本周司参議院議員からご祝辞をいただきました。馳 浩知事は、「皆さんには大変な思いの中、一生懸命に工事をしていただいていることに感謝申し上げます。様々な課題がありますが、建設業協会の皆さんには、引き続き御支援・御協力をお願いいたします。」と述べられました。続いて、安居知世石川県議会議長の乾杯の発声で和やかに歓談となり、真柄卓司県建設業協会副会長の中締めにより閉会しました。



<会 場>



<鶴山市会長（組合理事長）挨拶>



馳 浩
石川県知事



佐々木 紀
衆議院議員
国土交通副大臣



小森卓郎
衆議院議員
経済産業・内閣府・
復興大臣政務官



宮本周司
参議院議員



安居知世
石川県議会議長

令和7年秋の叙勲受章者の紹介

令和7年秋の叙勲で、石川県建設業協会 中市勝也副会長が「旭日双光章」を受章されました。

令和7年秋の叙勲

旭日双光章 中市勝也 氏

(一社)石川県建設業協会 副会長
株式会社丸中組 代表取締役会長

(功績の概要)

40年以上の永きにわたり建設業に精励とともに、
(一社)珠洲建設業協会会長を歴任し、現在、(一社)石川
県建設業協会副会長を務める等、業界の振興発展に貢献
されました。



知事感謝状の受賞

県建設業協会の「令和6年能登半島地震・令和6年奥能登豪雨における災害復旧・復興活動」に対し、
馳 浩知事から感謝状を賜りました。

贈呈式は12月10日(水)、石川県地場産業振興センターにおいて開催され、馳 浩知事から鶴山市会
長に感謝状が手渡されました。



令和7年度「優良建設功労者」・「優良建設工事」知事表彰等の紹介

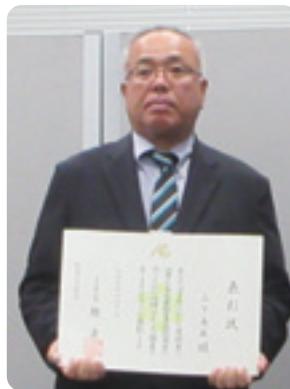
令和7年度国土と交通に関する知事表彰式が、12月1日(月)石川県庁において行われ、建設関係者から多くの個人・団体・企業が表彰されました。(一社)石川県建設業協会関係の優良建設功労者及び優良建設工事並びに優良建設工事に係る優良建設技術者(各総合事務所長等表彰)をここに紹介しその功労に敬意を表します。

優良建設功労者



山本正人氏

株式会社山本組
代表取締役



山下寿成氏

三和建設株式会社
代表取締役

優良建設工事

<土木部発注分> 【会社名及び工事名】

加賀建設株式会社

金沢港 改修(統合補助)工事(無量寺岸壁(-5.5m)補修工その2)

須美矢建設株式会社

一般国道249号 道路災害復旧工事(応急仮工事)

寺井建設株式会社

主要地方道 金沢田鶴浜線 地方道改築工事(上棚地区 上棚高架橋P3橋脚工)

株式会社戸田組

6災983号 主要地方道 七尾能登島公園線 道路災害復旧工事(その1)

株式会社豊蔵組

史跡金沢城跡災害復旧工事(本丸南石垣ほか保全対策工)

ピーエス・コンストラクション株式会社

金沢外環状道路 海側幹線IV期 地方道改築工事(浅野川うみかん大橋 海側P7-P9上部工)

株式会社北都組

主要地方道 輪島浦上線外 道路災害復旧工事(応急仮工事その3)

真柄・荒木特定建設工事共同企業体

一般県道 森本津幡線 橋りょう補修(防災・安全)工事(森下川橋)(耐震補強工)

本建設工業株式会社

主要地方道小松辰口線 地方道改築(防災安全)工事(川尻橋 A1橋台工)

兼六・アシーズ・長坂特定建設工事共同企業体

いしかわ特別支援学校高等部新校舎建設工事(校舎棟・建築)

島屋建設株式会社

6災1013号 主要地方道 金沢田鶴浜線 道路災害復旧工事(その2)

<農林水産部発注分> 【会社名及び工事名】

株式会社杉本工務店

令和4年度 県営ほ場整備事業（面的集積型） 中能登北部地区 区画整理工事
能登建設株式会社

令和4年度 県営震災対策農業施設整備事業若山地区堤体工事その2

灰田建設株式会社

令和5年度 県営林道開設事業 安谷線4工区 開設工事

山崎・みのり特定建設工事共同企業体

令和4年度（令和4年発生）林道災害復旧事業白山線 災害復旧工事

優良建設技術者

(土木部)

南加賀土木総合事務所表彰

南 祐生（本建設工業株式会社）

県央土木総合事務所長表彰

西本勝之（ピーエス・コンストラクション株式会社）

中能登土木総合事務所長表彰

南山正利（真柄・荒木特定建設工事共同企業体）

奥能登土木総合事務所長表彰

大崎正章（寺井建設株式会社）

宮繕課長表彰

坂下弘尚（株式会社戸田組）

公園緑地課長表彰

谷内紀彰（島屋建設株式会社）

金沢港湾事務所長表彰

本野圭司（株式会社北都組）

山田秀樹（須美矢建設株式会社）

由井俊介（兼六・アシーズ・長坂特定建設工事共同企業体）

大田和之（株式会社豊蔵組）

近江敏之（加賀建設株式会社）

(農林水産部)

南加賀農林総合事務所長表彰

西岡良則（灰田建設株式会社）

石川農林総合事務所長表彰

上野泰豊（山崎・みのり特定建設工事共同企業体）

中能登農林総合事務所長表彰

袋井亮一（株式会社杉本工務店）

奥能登農林総合事務所長表彰

前野貴昭（能登建設株式会社）



<優良建設工事知事表彰受賞者の皆さん>



県内の災害復旧・復興

令和6年の能登半島地震や奥能登豪雨災害で被災した道路、河川、農地・農業用施設、港湾・漁港等に対する災害復旧・復興工事が懸命に進められています。

■道路

県管理道路は、これまで応急復旧を進め、大規模な土砂崩れ等により被害が生じた5路線10箇所を除いて、昨年末までに通行止めは解消されました。

国の権限代行により、国道249号は外浦沿岸部において隆起した海岸を迂回路として活用し、輪島市門前町から珠洲市の間で通行が確保されました。また、のと里山海道では応急復旧後、カーブや勾配を緩やかにし、走行性や安全性を改善するとともに、本復旧工事を推進し、令和11年春までに本復旧が完了する予定です。

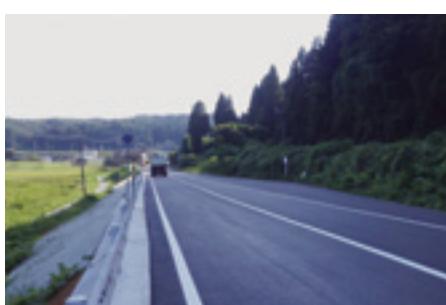
【県管理道路】



<輪島浦上線（輪島市大沢町地内）>



<輪島浦上線（輪島市上山町地内）>



<国道249号 鳳珠郡穴水町志ヶ浦地内>



<国道249号 千枚田工区>



<のと里山海道 横田IC～越の原IC間>



<のと里山海道 七尾市中島町小牧地内>

■河川

奥能登2市2町では、地震被災の29河川、豪雨被災の34河川について、川の流れを著しく阻害している箇所や人家に近接する箇所等、緊急に対応が必要な箇所の応急復旧が完了しています。さらに昨年11月からは、人家が連担する等優先度の高い19河川で、本格的な復旧工事が行われています。



<塚田川（輪島市）>



<珠洲大谷川（珠洲市）>

■農地・農業用施設

農地の亀裂や沈下、農道・水路・ため池の亀裂や法面崩壊、土砂・流木の堆積等への被害対応が行われています。そのうち基幹的な農道については、大規模被害が発生した9路線で通行止めとなりましたが、5路線で順次通行止めが解除されています。1日も早い営農再開に向け復旧工事が進められています。



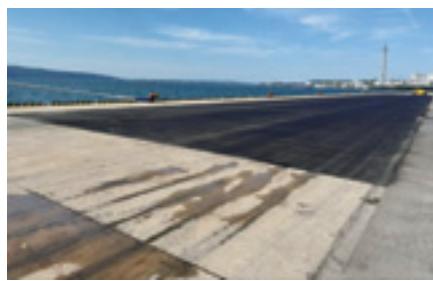
<ツインブリッジのと>



<七尾市平床の農業用ため池>

■港湾・漁港等

外浦沿岸部の地盤隆起、岸壁や荷上場の損傷等、県管理の10港湾・7漁港が被災しましたが、昨年3月までに全ての港湾・漁港で応急復旧が完了しており、創造的復興に向けた本復旧が進められています。



<七尾港（ふ頭用地）>



<輪島港（仮桟橋）>

【写真提供：石川県】

石川県建設業協会では、行政と連携を取りながら一刻も早い復旧・復興に向け、引き続き各種業務に従事してまいります。

がんばろう能登！
がんばろう石川！

のと里山海道4車線化(羽咋市柳田町～寺家町間)の完成

石川県土木部道路建設課

はじめに

のと里山海道は、南北に長い県土を一体的に結ぶ、広域交流基盤として極めて重要な路線であり、能登地域の大動脈として、産業・経済の発展に資するとともに、地域の生活道路としても大変重要な役割を担っています。

これまで、平成25年3月の全線無料化をはじめ、平成26年度には柳田IC以南を全線4車線化するなど、利便性向上や人・モノの交流拡大に取り組んできたところです。

一方で、無料化後には交通量が2倍に増加し、特に、急勾配区間である柳田ICから上棚矢駄IC間がボトルネックとなり、速度低下や渋滞が発生していたことから、平成27年度より、柳田ICから上棚矢駄IC間9.6kmの4車線化事業を積極的に進めています。



<図-1 事業箇所図>



<写真-1 柳田IC付近の渋滞状況>

事業概要

路線名：主要地方道金沢田鶴浜線（のと里山海道）

事業箇所：羽咋市柳田町～羽咋郡志賀町上棚地内

事業期間：平成27年度～

延長：L=9.6km

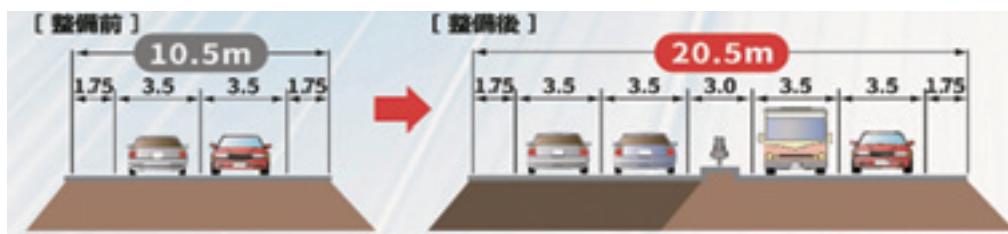
道路規格：第1種3級

設計速度：80km/h

幅員：W=14.0(20.5)m



<図-2 無料化後の交通量推移>



<図-3 標準断面図>

事業の効果

①金沢・能登の時間距離の短縮

柳田ICから上棚矢駄IC間9.6kmの4車線化により、のと里山海道88.4kmのうち、約6割の区間が4車線となることで、走行速度が速まり、金沢・能登間の移動時間の短縮が図られます。

②能登地域の活性化

能登地域における通勤圏域の拡大や物流の効率化が図られ、移住・定住の促進や企業立地など更なる能登地域の活性化が期待されます。

③安全・安心な交通環境の確保

対面通行が解消され、安全性が向上します。また、道路が被災しても交通を確保しながら復旧工事を行えるため、大規模災害時でも、緊急車両の通行や物資輸送が可能となります。



<写真-2 被災時の交通確保状況>

災害復旧工事との調整

事業区間である柳田IC～上棚矢駄IC間では災害復旧工事も行っており、災害復旧工事で夜間通行止めを行っている間に4車線化工事を行うなど、工程調整を行うことで、夜間通行止めの頻度を減少させ、震災以来、増加する交通に支障がないよう配慮しました。



<図-4 災害復旧工事との調整>

完成式典

昨年12月6日(土)には、石川県・のと里山海道整備促進期成同盟会の主催により、羽咋市柳田町～寺家町間の完成式が開催されました。

式典は羽咋労働者総合福祉センターにて執り行われ、知事や七尾市長をはじめとした奥能登、中能登の首長、工事に携わった関係者の方々や地権者の皆様にご出席いただきました。

供用後、道路利用者からは、「以前はよく渋滞していたが、4車線化により通りやすくなった」などのコメントを頂くなど好評です。



<写真-3 完成式鏡開き>

おわりに

のと里山海道の4車線化は、能登の創造的復興を加速させる大変重要な柱であることから、柳田ICから上棚矢駄IC間の残る区間についても4車線化を間断なく進めるとともに、今年の春からは、上棚矢駄ICから徳田大津JCT間の工事に着手します。

最後に、本道路の整備に多大なるご尽力を賜りました関係各位には、心から感謝を申し上げますとともに、引き続き、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

女性部会「百万石小町『結』」～現場見学会・研修会の開催～

百万石小町『結』 現場見学会・研修会の開催



百万石小町 結

令和7年11月4日(火)、女性部会会員42名が参加し、国土交通省北陸地方整備局能登復興事務所(杉本 敦事務所長)にご協力いただき、奥能登地区の災害復興に関する現場見学会・研修会を開催しました。



研修会《(一社)鳳輪建設業協会研修室》

研修会は、森高靖子部会長の挨拶に続き、国土交通省北陸地方整備局能登復興事務所杉本 敦事務所長から「令和7年度の能登復興事務所の事業概要」「令和6年能登半島地震、令和6年奥能登豪雨への対応」についてご説明いただきました。



<森高部会長挨拶>

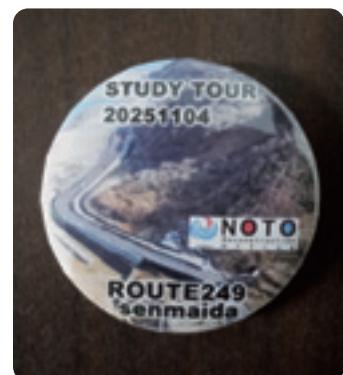


<杉本事務所長の概要説明>

能登復興事務所では、職員が缶バッジを手作りし「能越道小学生イベント」等で配布活用しており、今回の研修記念に手作り缶バッジをいただきました。



<田中義太郎 計画課長の取組説明>



<研修記念缶バッジ>

AIドローンポート見学《輪島市消防本部》

AIドローンポートにおける遠隔操作の離発着、ドローン撮影映像の画像確認等を見学しました。



国道249号被災箇所の状況視察《千枚田・大川浜・逢坂工区》

能登復興事務所職員から被災箇所の復旧対応・工事状況等の説明を受けながら、車窓から現地状況を視察しました。



その他

あわせて「ワイプラザ輪島の出張輪島朝市」「道の駅千枚田ポケットパーク」「道の駅すず塩田村」を見学しました。



福井県建設業協会女性部会との意見交換会の開催

女性部会「百万石小町『結』」（森高靖子部会長）は、令和7年11月17日(月)、ローズガーデン（福井県）で福井県建設業協会女性部会との意見交換会「福結び交流会」を開催し、当県女性部会 森高靖子部会長等6名、福井県建設業協会女性部会 南 里佳部会長ほか50名が参加しました。

●交流会の開催

福井県建設業協会女性部会 南部会長の挨拶に続き、役員の紹介をいただき、当県から建設青年委員会 明翫圭祐委員長及び女性部会 森高部会長が挨拶し、百万石小町「結」の取組や活動を紹介しました。

●講演会の開催

福井工業大学非常勤講師 武内昭子氏が「男女のコミュニケーションの違いと特徴」と題し、コミュニケーションスタイルの違いから起こる男女の会話の問題やトラブル等について講演をいただきました。

●ランチ交流会の開催

相互交流を一層深めるため、懇親のランチ交流会を開催しました。

●グループディスカッションの開催

「アサーショントレーニング」をテーマに、武内講師がコーディネーターとなり「男女のコミュニケーションの特徴」等について意見を交わしました。



工業系高校を対象とした現場見学会の開催

建設人材確保特別委員会は(一社)石川県木造住宅協会と共に、金沢市立工業高校の生徒を対象とした現場見学会を開催しました。

住宅建築や工場加工の様子、災害復旧工事の様子を学ぶなど、建築についての知識や理解を深めました。受け入れにご協力いただきました方々に、改めて感謝を申し上げます。

●建築科1年生（37名）

令和7年11月20日（木）

見学先：白山市部入道町住宅展示場（ほそ川建設（株）・（株）イシダ住建・ニューハウス工業（株））、
あさひ木材（株）工場



<部入道町住宅展示場>



<あさひ木材（株）工場>

●建築科2年生（38名）

令和7年12月17日（水）

見学先：石川県立田鶴浜高校（災害復旧工事）



<石川県立田鶴浜高校の工事現場>

国土交通省、建設産業人材確保・育成推進協議会主催 令和7年度「高校生の作文コンクール」入選作品の紹介

国土交通省、建設産業人材確保・育成推進協議会主催の令和7年度「高校生の作文コンクール」で、金沢市立工業高等学校土木科2年荒木悠迅さんが国土交通大臣賞、同校土木科3年大田恵瞳さんが不動産・建設経済局長賞、同校土木科2年西田 潤さんが優秀賞に選ばれ、令和7年12月10日(水)、同校で授与式が開催され国土交通省北陸地方整備局の大坂 剛建政部長から表彰状が伝達されました。



<写真左から大坂部長、荒木さん、大田さん、西田さん>

人を笑顔にする職業

荒木悠迅 [金沢市立工業高等学校土木科2年]

自分たちが毎日使う、よく通るその道路はどのようにしてできているか知っていますか。私は毎日使う、また毎日通るこの道路について深く考えたことなんてありませんでした。しかし、2024年1月1日に起きた能登半島地震により、今まで普通に使っていた道路が寸断や崩落で使えなくなりました。そして移動するのにも今まですぐに到着する場所でも倍以上の時間がかかり、道路が使えなくなることがどれだけ大変なことか気づかされました。そこから普段当たり前だった道路に興味を持ち、自分は工業高校に入学しました。私は工業高校に入学する前までは道路工事作業員が街で道路を直しているのを見かけるため、この方が道路を作っていると思っていました。ですが、この方たちだけでできているのではなく測量士の方などたくさんの方が関わっていることを知りました。また、このことにより建設産業について興味を持ちました。私の最初の建設産業の印象は「力仕事できつそう」、「自分にはできなさそう」、などといったあまり良い印象ではありませんでした。ですが工業高校に進学し、工業や建設産業について学ぶにつれてとてもやりがいのある職業だと印象が180度変わりました。

建設業は、建物を建てるのにも、道路を作るのにも欠かせない職業です。またすべての人が使い生活に欠かせないものを作る仕事です。そしてその作ったものを地図に残すことができる職業であり、今後もなくなることのない必要不可欠な職業だと私は考えています。また、人を笑顔にできる職業だと私は考えています。このように考える理由は、能登半島地震により私の祖母の家が傾き赤色の札が張られ、その家には住むのが危険と判断されたときのことでした。その札を見た祖母はとても悲しんでいました。そこで、「もうこの家には住めないのか」と泣き崩れる祖母を見ました。私は初めて祖母のこんな姿を見ました。

そして月日がたち建設産業の技術により、家を直せると祖母が聞いたときとても笑顔になっているのを見ました。建設産業はあれだけ泣き崩れていた人をこんなにも笑顔にすることのできるとても素敵でかっこいい職業だなどそのとき思いました。そして私はこんな建設産業にあこがれを抱きました。私は今後建設産業界の一員となり、これから社会を築ける立派な人になり、人を笑顔にしたいなと考えています。また私の故郷である石川県を素敵なかつやや社会にし、震災のあった能登を建設産業の力や魅力で地震の起こる前のような活気のある素敵な街にできるように頑張りたいです。またこれから建設産業の発展のためにいろいろな人に建設産業の魅力を伝えたいなと思います。

ダムに魅せられて－土木の道へ進む決意－

大田恵瞳 [金沢市立工業高等学校土木科3年]

私の趣味は「ダム巡り」をすることだ。このことを人に話すとよく笑われたり、驚かれたりする。

「なぜそんな地味なものが好きなのか？」と聞かれることがある。だが私にとってダムはただの構造物ではなく、人生の目標を与えてくれたかけがえのない存在だ。

私がダムの魅力に気づいたのは小学5年生の夏休みの自由研究で手取川ダムを訪れ、実際に見て圧倒的な存在感、恵まれた自然にそびえ立つ美しい堤体に一瞬で目を奪われた。そこからダムについて詳しく調べ、石川県内の色々なダムを巡るようになり、ダムの構造や働きについて詳しく調べるようになつた。

日本国内にはおよそ2700基存在するといわれており、一つとして同じ形のダムは存在しない。型式で分ければ、重力式コンクリートダム、アーチダム、ロックフィルダム、アースダム、バットレスダム、コンバインダムと分類できるが、それぞれに個性がある。これはまるで、人間に個性があるのと同じように感じられ、私がダムに惹かれた理由の一つだ。

ダムは、ただ水を溜めているだけに見えるかもしれない。しかし、実際には私たちの暮らしに欠かせない「利水」や「治水」という重要な役割を担っている。水が不足しているときには放流して生活用水や農業用水として利用され、逆に大雨や台風のときには川の氾濫を防ぐために水を溜めてくれる。私たちが当たり前のように安全に暮らせるのは、こうしたダムの働きがあるからだ。

日本で1番堤高が高い黒部ダム、1番提頂長が大きい大谷内ダム、1番総貯水容量が多い徳山ダム。それぞれが異なる特徴を持ち、どれもが日本のインフラを支える重要な存在だ。私はこれらすべての特徴を兼ね備えた「理想のダム」をつくるのが夢だった。しかし現実にはダム建設には多くの課題がある。強固な岩盤を持つ場所が必要で、多くの資材と人手も必要で、場所の選定も難しい。さらに、ダム建設のために村や集落の人たちに立ち退きをお願いしなければならないケースもあり、簡単には進められない。それでも私はダムが果たしている役割を考えると、その価値はとても大きいと信じている。

そんなダムをつくる土木作業員の方々をとても尊敬している。危険を伴いながらも、生活を支えるために汗を流し、完成すれば地図にも残る誇り高い仕事だ。私がダムに惹かれるのは、巨大な構造物としての美しさだけでなく、その裏にある技術と努力の積み重ねが感じられるからだ。

私は工業高校で「土木」の道を選んだ。将来は、日本や世界のインフラを支える土木作業員として活躍したいと強く思っている。災害復興や日々の生活を支えるために、建設業はこれから社会にとってなくてはならない仕事の一つだ。その一員となれるよう、これからも勉強に励み、技術をもっと磨いていく。

笑われるかもしれない。でも、私の夢は本気だ。そしていつか誰かの暮らしを守るダムを、自分の手でつくってみせる。

たくましい存在

西田 潤 [金沢市立工業高等学校土木科2年]

私が思う建設業の魅力とは、地図に残る仕事だと思う。今こうして生活しているのも、誰かが何かをしてくれているから生活ができている。建設業の仕事は「ダサい」という印象があるかもしれない。しかし、私はダサくないと思う。いや、むしろかっこいいと思う。人には必ず家族がいて、守る権利がある。

しかし建設業の人たちは、交通状態や効率などを考えて夜間に作業をすることをよく見かける。その人たちは、自分の時間や睡眠時間を削ってまで、社会のため、そして人々の生活のために汗水を流している。その一滴の汗は、きっと誰かの流す一滴の涙を防いでいるのだろう。夜間、誰も見ていない中で一生懸命働いている姿は誇りに思うべきことだ。気づけば、道路がきれいになったり、新たな道ができるたりしているが、それは現場の人たちだけではできない。設計する人、管理者など、数えきれないほどの裏方の仕事もある。その方たちがベースとなり、成り立っているのだ。

また、機械等を使う場合もある。一つのミスが大きな事故につながる。一つ一つが緊張に包まれている。そのような緊迫した中で必死に働いている人はかっこいいと思うのが、建設業の魅力だと私は思う。

一方、元日に襲った令和6年能登半島地震。他県から様々な救急隊や自衛隊などが助けに来てくれて、数多くのニュースになった。しかし、そのニュースには建設業の方々のことが映されていなかったと思う。救急隊や自衛隊の車両が通れるのは、土木関係の人たちが一人でも多くの命を救うために道を切り開いてくれたからだ。土木の人も人を救っている。誰も知らないところで、命を救うために頑張ってくれたのだ。

授業の現場見学では、道路を作る最初の段階を見せていただいた。そこで、重機を動かす場面で現場の人が笑顔で「乗ってみるか」などと言ってくれて、本当に現場の人はフレンドリーな人が多いと思った。また、重機を動かしているのを見て、人一人で大きなものを操ることができるのは、本当に建設業の人以外にはできない仕事だと思った。当たり前のように歩いている道路も、作ってくれて管理もしてくれている。限られた時間やお金などを考慮しながら作業をこなすのは、素人にはできないプロの技術であり、そのようなことを称える必要があると考えた。

このようなことを踏まえ、建設業とは生きる上のベースとなっており、自分たちが知らない場面で多く助けてもらっている、欠かせない存在だと私は思う。建設業には様々な魅力があり、自分としては汗を流す姿がかっこよく、憧れる存在となっている。

輝きさん

No.127

鈴木建設株式会社

むねひろみあか

宗廣 美昂香さん

所属：建築工務部

勤務年数：1年7ヶ月

年齢：19歳



金沢市清川町の本社事務所に「輝きさん」を訪ねました。

弊社は、昭和23年創業。「自然と街の共生」をモットーに豊かな地域社会づくりに取り組む建設会社です。私は、建築工務部に所属し、現場の施工や安全管理、提出書類の作成や施工写真の整理等を担当しています。

私の名前は「みあか」と読みます。父から「清く正しく美しくを目指す高みへと昂がって行く、そんな子(香)にな

るよう」という願いがこもっている。」と聞いています。羽咋工業高校の建設・デザイン科を卒業し、進路担当の先生から紹介された鈴木建設に入社しました。建設業は力仕事のイメージを持っていたので少し不安でしたが、実際の現場では担当業務で重い資材を運ぶようなこともなく、皆さんもすごく優しくて話しやすい雰囲気なので、毎日楽しく仕事をさせてもらっています。女性専用の快適トイレや更衣室等、職場環境が整備されているので、弊社もそうですが女性の入職者が増えています。

当面の目標は、2級土木施工管理技術検定試験の合格です。色々な資格を取得したいのですが、大型免許を取ってダンプカーも運転してみたいと思っています。現場に来る女性作業員さんの姿がカッコよく「いつか自分も運転してみたい。」と思っています。入社2年目で任される仕事も段々と増え、朝礼や事前打合せでは、現場がスムーズに進められるよう正確で間違いのない説明を心がけています。



私は、K-POPアイドルのStray Kidsのファンで、推しは“HAN”です。毎回チケット予約を頑張りながら年に数回、友人達と県外コンサートを行っています。今年10月に長期休暇をいただき、4泊で韓国ライブに行ってきました。現地でのライブ最高でした。写真是その時の様子です。12月には国立競技場で開催されるライブチケットが取れているので今から楽しみです。旅行やドライブも好きで、ライブに合わせてその土地の観光地を巡って楽しんだり、運転して近場に出かけたりしています。11月に待望の愛車が納車されるので、心待ちにしています。



韓国のライブで



宗廣 美昂香さんから
後輩たちに一言

建設業は多くの人が協力して完成させる仕事です。決して簡単ではなく学びの毎日ですが、先輩や業者さんたちと色々な話をすることで現場を経験することで、自分の成長を感じられる楽しい職業です。特に女性の方、ぜひ私たちと一緒に“地図に残り地域社会を支える素敵な建設業”に挑戦しましょう。

輝きさん

No.128

島屋建設株式会社

おきのなぎさ

沖野 凪沙さん

所属：工事部工事課

勤務年数：4年8ヶ月

年齢：27歳



金沢市増泉3丁目の金沢営業所事務所に「輝きさん」を訪ねました。

弊社は、前身の島屋商店（明治27年創業）を経て昭和39年1月に設立された建設会社です。道路のアスファルト舗装をメインとして、駐車場舗装やグラウンド舗装、テニスコート舗装等も行っています。

私は、金沢営業所の工事部主任として、提出書類の作成やICT施工のデータ作成等を担当し、今年から動き出した舗装復旧現場の現場代理人として頑張っています。短期大学の現代教養学科を卒業し、会社見学やインターンシップ等を通じて島屋建設を選びました。日常生活を支えるインフラ系の職業に興味があり、舗装業はどんな仕事なのだろうと思い合材工場や舗装現場を見学しました。その見学の中で、子供のころ、工事が終わった道路を自転車で走ってみた時「なんて走りやすいのだろう」と感じた経験が蘇ったことが、一番の決め手でした。

弊社の女性社員は20代が多くて話しやすく、丁度よい距離感だと感じています。建設に関する知識が全くなく入社したので不安でしたが、しっかりと教えてもらえますしサポートを受けながら業務を覚えています。今回初めて現場代理人として現場に立てたので、自分の行動や次の作業が正確に行えるよう事前確認の徹底を心がけています。少しずつながら自分の成長や建設業界の一員となれた実感とやりがいを感じるようになり、この職業を選んで本当によかったです。



現場測量中の私です

私は、どちらかというとインドア派で、休日は自宅でスマホゲームや読書、録画番組を見たりして家族とノンビリ過ごしています。今年7月、弊社60周年の社員旅行があり、神戸港でのディナークルーズや大阪・関西万博を楽しんできました。万博は知らない国々のアピールポイントが感じられ、色々な工芸品を見ることができました。写真は、残念ながら展示用で買うことができなかった貝殻のアクセサリーです。社員旅行最高でした。



お気に入りのアクセサリー



沖野 凪沙さんから
後輩たちに一言

建設業は日常生活に欠かすことのできない仕事です。私のように入社時に知識がなくても大丈夫ですし、女性が働きやすい職場環境づくりも進んでいます。ぜひ私達と一緒に“社会インフラを支える建設業”に挑戦しましょう。

輝さん

No.129

株式会社竹松組
なかむらりむ
中村 理夢さん

所属：工事部
勤務年数：5年9ヶ月
年齢：24歳



金沢市西念の現場事務所に「輝さん」を訪ねました。



金沢市西念の現場事務所に「輝さん」を訪ねました。

弊社は、昭和26年創業で、「地域の笑顔のために～みんなが喜ぶ街づくり～」をキャッチフレーズに、多くの経験に基づく信頼、豊かな技術・技能を誇る会社です。上下水道・都市ガス管などライフルラインの改良工事や道路工事、一般住宅の新築・リフォーム等、多岐の業務を行っています。私は、工事部に所属し、現在、現場監督補助として、現場写真の撮影・整理や伝票整理等を担当しています。今の現場は地震災害復旧工事で、下水道の管工事に併せて上水道・ガスの工事も行っています。市街地道路での工事なので、工事車両や通行車両、歩行者の事故防止等に配慮し、積極的に声掛けをして安全第一に心がけています。

地元金沢の工業高校(土木科)を卒業し、先生の紹介で竹松組に就職しました。若い人が多く、社長を始め先輩方もフレンドリーで話しやすく、上下関係を感じさせない会社で、入社出来て本当に良かったと思います。最初の頃は道具の名前もわからず、業務内容が多岐にわたるので覚えることが多くて大変でしたが、しっかりと教えて貰えますし、慣れるに従い知識・技能が身につきます。土木施工管理技士等の資格を取り、少しでも早く一人前の現場監督になって会社に貢献したいです。

休日は、友人たちと食事や観光地に出かけて楽しんでいます。11月には、食事中に盛り上がったノリで、翌日に友人3人とナガシマスパーランドに行きました。絶叫マシンが苦手な友人もいましたが、思う存分満喫してきました。温泉に行くのも好きで、昨年は草津や熱海に行ってきました。写真は草津温泉です。休日はしっかり貰えるので、特に長休みの時には色々と出かけて楽しんでいます。



中村 理夢さんから
後輩たちに一言

建設業は、自分が関わった現場が実際に形となって目に見える仕事です。イメージ的にはキツイ・汚い等と思われるがちですが、暑さ・寒さ対策や快適施設の導入等、現場の環境改善が進んでいます。また、工業系の学校を卒業しなければ働けないものではありませんし、しっかりとサポートして貰えます。工事完成時の喜びややりがいを強く感じられる職業です。ぜひ一緒に建設業を盛り上げていきましょう。

(一社)石川県建設業協会・石川県総合建設業協同組合理事会の開催

開催日時 令和7年12月19日(金) 14:00~15:15
開催場所 金沢東急ホテル
出席者 正副会長、常任理事、理事、幹事、事務局
計60名

概要

鶴山荘市協会長の挨拶の後、

「建設技能者のリスクリング支援制度」

星澤伸太郎 石川労働局職業安定部職業対策課長補佐

「建設業法の改正について」

高橋信博 国土交通省不動産・建設経済局入札制度企画指導室長

長 秀之 石川県土木部監理課長

のご講演をいただきました。

続いて事務局から、令和7年度事業執行状況、今後の主な日程、会員受注高、建設業をめぐる最近の話題等について報告を行いました。

引き続き開催された石川県総合建設業協同組合理事会では、令和7年度事業執行状況の報告等を行いました。

会議終了後、令和7年秋の叙勲で旭日双光章を受章した中市勝也副会長に役員一同から金杯（目録）が贈呈されました。



<星澤課長補佐の講演状況>



<高橋室長の講演状況>



<長課長の講演状況>



<会議状況>



<中市副会長への金杯（目録）贈呈>

「いしかわインフラ・フォトクリップ」

～建設フォトコンテスト～ 入賞作品の紹介

石川県土木部と(一社)石川県建設業協会では、建設業に携わる人たちの様子、作り出されたインフラが生活の中で生かされる様子を捉えた写真を通じて、多くの人に建設業の大切さや魅力を伝え、建設業に興味を持ってもらえるよう、「いしかわインフラ・フォトクリップ」(建設フォトコンテスト)を開催しています。

コンテストは、通常と復旧・復興の2部門で行い、令和7年11月20日(木)、写真家の山崎エリナ氏を審査員に迎えて厳正な選考審査の結果、応募総数141点の中から最優秀賞、優秀賞、入賞、審査員特別賞が選ばれました。

令和8年1月8日(木)、県庁19階展望ロビーにおいて表彰式が行われ、本田 琢土木部長、鶴山庄市県協会長から、入賞者に賞状と副賞が手渡されました。



【通常部門】

最優秀賞

dai0416 「堰堤と白山」

優秀賞

守友 信悟 「金沢城二の丸御殿復元整備の素
屋根の骨組みが現れました」

和田 実加 「協力が織りなすスピードと技術」

入賞

治下 貴宏 「将来はこれを・・・」

本田 忠大 「心配してくれてる上司
ハイ、ひょっこりはん」

審査員特別賞

菊地 浩貴 「父の橋を渡る」

松村 采奈 「静かな夜の青」

fushimi-mai 「見えないところに、確かな力」

【復旧・復興部門】

最優秀賞

千場 勇輝 「もう半分」

優秀賞

Oniyanma 「空から描く復旧線」
中島 淳志 「1日も早い復興にむけて」

入賞

坪田 侑真 「一歩ずつ、着実に前へ」
南 裕太郎 「1日でも早い復興を目指して」

審査員特別賞

ゆず 「保育園に届いた希望の舟」

《入賞作品他60点の展示》

石川県立図書館	12月12日(金)～12月25日(木)
県庁19階展望ロビー	1月5日(月)～1月12日(月・祝)
小松空港	1月23日(金)～2月3日(火)
のと里山空港	2月18日(水)～3月4日(水)

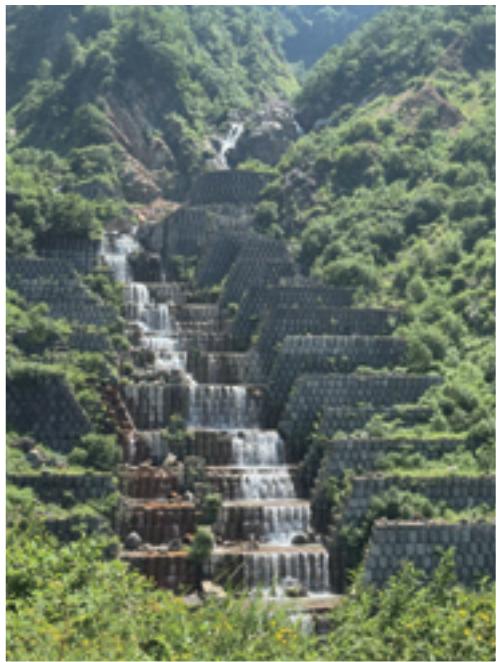
審査員コメント

通常部門は、“石川県に住む人の日常にある土木、現場、構造物をより独自の視点で表現したい”という思いが伝わりました。写真は撮る人の心が映し出されます。子どもに向ける優しい眼差し、苦労してつくったであろう砂防堰堤や立坑築造の情景、現場の人の眼差しなど、携わっているからこそ切り取れる視点やアングルに拘った作品、“日常での橋や重機のシルエット、夜の構造物の美しさなどを写真に収めたい”という「優しさ」に溢れた力作ばかりでした。

復旧・復興部門は、携わる人や助けられる側の視点から捉えている作品でした。私たち一般市民では見に行くことのできない土砂災害、水害での救助、港湾の復旧、ドローンによる崖上での計測、浸水で救助隊を待つ人の目線など、リアルな現場を写真で映し出すことによって、インフラを支える人たちへの感謝の思いやインフラの重要性を改めて感じました。写真が伝える力の凄さや写真に込めた思いをたくさんの方々に見て感じていただけることを願っております。

通常部門

最優秀賞

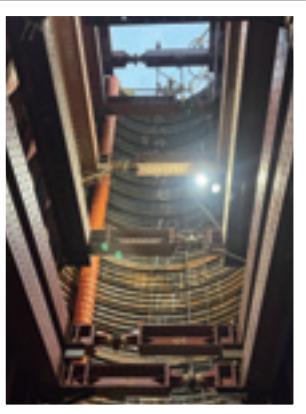


dai0416
「堰堤と白山」

入賞



治下貴宏
「将来はこれを・・・」



本田忠大
「心配してくれてる上司」
ハイ、ひょっこりはん」

優秀賞



守友信悟
「金沢城二の丸御殿復元整備の素屋根の骨組みが現れました」

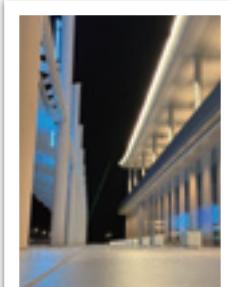


和田実加
「協力が織りなすスピードと技術」

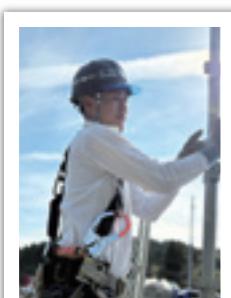
審査員特別賞



菊地浩貴
「父の橋を渡る」



松村采奈
「静かな夜の青」



fushimi-mai
「見えないところに、確かな力」

復旧・復興部門

優秀賞

最優秀賞



千場勇輝
「もう半分」



Oniyanma
「空から描く復旧線」



中島淳志
「1日も早い復興にむけて」

入賞

審査員特別賞



坪田侑真
「一歩ずつ、着実に前へ」



南 裕太郎
「1日でも早い復興を目指して」



ゆず
「保育園に届いた希望の舟」

徳島県建設業協会青年部 との意見交換会の開催

開催日時	令和7年10月24日(金) 14:30~17:40
開催場所	ホテル金沢
来賓	国土交通省 高橋信博 不動産・建設経済局建設業課入札制度企画指導室長 寺田直加 政策係長 北陸地方整備局 杉本 敦 能登復興事務所長 (一財)建設業振興基金 長谷川周夫 専務理事
参加者	(一社)徳島県建設業協会青年部 31名、事務局 2名 (一社)石川県建設業協会建設青年委員会 13名、事務局 1名

概要

(一社)石川県建設業協会建設青年委員会は、(一社)徳島県建設業協会青年部と「大規模災害時の対応」についての意見交換会を開催しました。当県建設青年委員会 明翫圭祐委員長及び徳島県建設業協会青年部 岩朝祐二部会長の挨拶に続き、来賓の方々から下記ご講演・情報提供をいただきました。

国土交通省	「大規模災害時における広域連携体制の構築等について」 広域災害からの迅速な復旧復興事業の推進のための復興CM方式の活用等
建設業振興基金	「建設キャリアアップシステム」 最近の状況等
北陸地方整備局 能登復興事務所	「大規模災害（能登半島地震、奥能登豪雨）に学ぶ」 災害復旧における行政の対応や地域建設業者の応急復旧活動等

意見交換会では、広域連携や行政・関係機関との連携、今後の災害対応の在り方等について意見交換を行いました。



沖縄県建設業協会青年部会 との意見交換会の開催

開催日時	令和7年11月13日(木) 15:00~17:40
開催場所	石川県建設総合センター
参加者	(一社)沖縄県建設業協会青年部会 25名、事務局 1名 (一社)石川県建設業協会建設青年委員会 16名、事務局 1名

概要

(一社)石川県建設業協会建設青年委員会は、(一社)沖縄県建設業協会青年部会と「大規模災害時の対応」についての意見交換会を開催しました。当県建設青年委員会 明翫圭祐委員長及び沖縄県建設業協会青年部会 古波藏太志部会長の挨拶に続き、令和6年能登半島地震・奥能登豪雨における地域建設業の災害対応や今後の課題を中心に話し合い、年々激甚化する自然災害に対し、将来にわたり建設業が地域の守り手としての役割を果たしていくための担い手確保や、建設業のイメージアップ等について意見交換を行いました。



全国建設青年会議第30回全国大会への参加

全国建設青年会議第30回全国大会（中部建設青年会議主催）が、令和7年12月5日(金)午後1時30分よりリーガロイヤルホテル東京にて開催され、北陸ブロックから25名、当県建設青年委員会から、明翫圭祐委員長をはじめ7名が参加しました。来賓には、金子恭之国土交通大臣、見坂茂範参議院議員、国土交通省から廣瀬昌由技監並びに各地方整備局調整官等、全国建設青年委員600名余が出席しました。



〈特別講演〉 国土交通省 技監 廣瀬昌由 氏

「建設業を巡る最近の話題」

〈第1部〉 各ブロック代表者（9氏）によるピッチコンテスト

「伝える つなぐ 私たちのプライド」

〈第2部〉 アフタートーク＆パネルディスカッション

ファシリテーター：ラジオナビゲーター 小林拓一郎 氏

パネリスト：（株）新建新聞社編集長 酒井真一 氏

（株）KSK代表取締役重機女子／インフルエンサー 東 香織 氏

全国建設青年会議 清水良保 氏

「3級建設業経理事務士特別研修」 の開催

開催日	令和7年10月29日(水)、10月30日(木)、 10月31日(金)
開催場所	石川県建設総合センター
受講者	7名
講師	税理士法人松下会計事務所東京事務所・ 松戸事務所代表社員 税理士 松下敬三 氏

概要

建設技術研修所は、（一財）建設業振興基金の委託による「3級建設業経理事務士特別研修」を開催しました。受講者は建設工事の施工工程で発生する取引や一般的な商取引にかかる記帳処理、建設業の原価計算の基礎等を学びました。



東日本建設業保証(株)グループ会社 (株)建設経営サービス出来高融資のご案内

KKS出来高融資の概要

「KKS出来高融資」は、国土交通省が創設した『地域建設業経営強化融資制度』に基づき、**工事の出来高に応じて融資を受けることができるサービスです。**

工事請負代金債権を担保としますので、**保証人や不動産等といった担保は必要ありません**。新たな資金調達手段としてご活用いただける仕組みです。

工事の出来高に応じて資金を回収できるため、キャッシュフロー改善の一環としてご利用いただいております。

※国土交通省等の国の機関や県内発注機関でご利用いただけます。

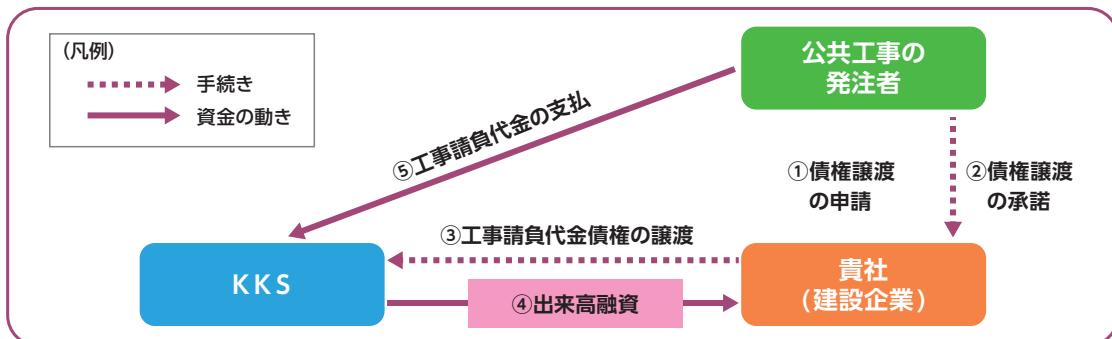
KKS出来高融資の特長



石川県では**県内の全自治体**で本制度をご利用いただけます!!

KKS出来高融資のしくみ

国の「地域建設業経営強化融資制度」に基づき、貴社の公共工事請負代金債権(以下、工事請負代金債権とします)を担保として、KKSが出来高に応じて融資を行うものです。



ご利用いただける方

資本金 20 億円以下または従業員 1500 人以下の建設企業の方。

対象工事

「地域建設業経営強化融資制度」を導入している公共発注者※の発注工事及び
公益的民間工事。

※本制度の導入状況は、KKSホームページ(<https://www.kks-21.com/>)に掲載しております。

詳細はコチラ



「KKS出来高融資」に関するお問い合わせ先

KKS 株式会社建設経営サービス

貸金業登録番号 関東財務局長(6)第01480号
URL <https://www.kks-21.com>

金融 第二部

お電話はこちらへ!
03-3545-8523

営業時間：平日 9:00～17:00

特殊詐欺 SNS型投資・ロマンス詐欺急増 ⚡

X【エックス】・Instagram【インスタ】

「石川県警察 安全安心情報」発信中！

県警公式アカウント登録>最新の「手口と対策」!

手口を知る>「これは詐欺だと気づく力」>「抵抗力」

X エックス (石川県警察安全安心情報)



Instagram (石川県警察安全安心情報)



ユーザー名:@ip_anzen_anshin

- ★ 手口を知って詐欺への抵抗力を!
- ★ 家族や知人も登録・フォローを!

★QRコード★
この場所で簡単に簡単登録!

手口を知るは「抵抗力」!



建設業のみなさんへ

建退共
KENTAI KYO

建退共 けんたいきょう に入ろう!



従業員をまもる。
会社を強くする。

建設現場で働く労働者のための国の退職金制度です。

掛金は損金扱い!
新規加入で一部免除

電子申請方式なら
手続きもカンタン!

一人親方も
加入できる!

詳しい情報はこちら!

建退共

<https://www.kentaikyo.taisyokukin.go.jp>



建退共
建設業退職金共済制度

(2024.09)

独立行政法人 勤労者退職金共済機構 建設業退職金共済事業本部

〒170-8055 東京都豊島区東池袋1-24-1 TEL 03-6731-2866

お問い合わせは

建退共石川県支部

〒921-8036 金沢市弥生2-1-23 (石川県建設総合センター1F)
TEL076-242-2608(代) FAX076-241-9258

ますます安心。充実の制度。



契約者割戻金制度が始まっています。

契約者
割戻金制度により
**掛金負担が
軽減**

手厚い補償
保険金区分合計
最高**5,000万円**

労働者と企業の
リスクを
カバー

社員と家族、会社を守るために。

建設共済保険

法定外労災補償制度



今すぐ、ご加入を!

「建設共済保険」の他にも、次のような事業を行っています。

育英奨学事業

被災者(死亡および障害・傷病3級以上)の子供に対して、要保育期間および小学校から大学までの在学期間中、返済不要の奨学金を継続して給付。

労働安全衛生推進事業

- ① 安全衛生用品の頒布
- ② 女性専用トイレ・更衣室導入費用の助成
- ③ 安全衛生推進者表彰 等

公益財団法人
建設業福祉共済団

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門琴平タワー 11階

■ 取扱機関: (一社)石川県建設業協会
〒921-8036 金沢市弥生2-1-23
Tel. 076-242-1161 Fax. 076-241-9258



正確な掛け金の試算や資料請求はこちらまで

FREE
フリーアクセス

0120-913-931

受付時間 午前9:00～午後5:00(土日祝を除く)

建設共済保険

検索

<https://www.kyousaidan.or.jp/>

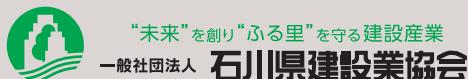


2月の毎週土曜限定で、夜間ライトアップを実施。幻想的な光の演出が楽しめる（ライトアップ実施時間帯入園無料）。

表紙写真

雪化粧の兼六園 (ゆきげしょうのけんろくえん)

加賀前田家歴代当主によっておよそ180年をかけて形づくられた「兼六園」。江戸時代の代表的な大名庭園で、国の特別名勝にも指定されており、四季折々の美しさを楽しむことができる。なかでも冬は、雪景色が庭園の魅力を一層引き立てる。園内中央の霞ヶ池の水面が雪に覆われ、ほとりの微軒灯籠は、雪帽子をかぶったように見える。近くの唐崎の松には雪吊りが施され、放射状に張られた縄が美しい幾何学模様を描き、冬の風物詩として兼六園ならではの趣を添える。重い雪から枝を守る知恵でありながら、景観に調和する芸術的な造形美を生み出し、訪れる人々に日本庭園の冬の美を感じさせている。



“未来”を創り“ふる里”を守る建設産業
一般社団法人 石川県建設業協会

〒921-8036 石川県金沢市弥生2丁目1番23号
TEL (076)242-1161(代)
FAX (076)241-9258
URL <http://www.ishikenkyo.or.jp/>



この冊子は、植物油インキを使用し、環境にやさしい
「水なし印刷」を採用した印刷物です。